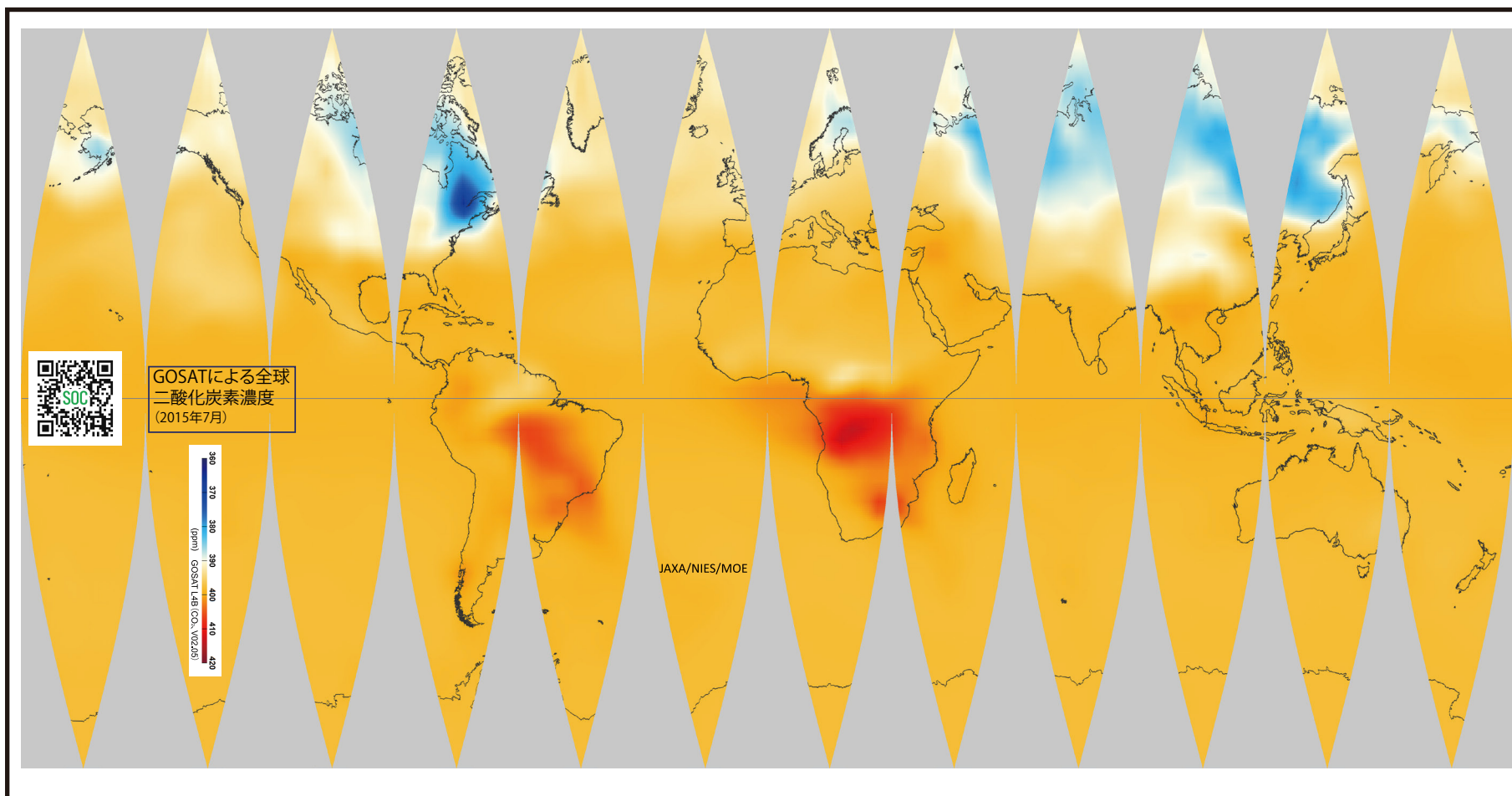


「いぶき」による全球二酸化炭素濃度地球儀シート

2015年7月の温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」のデータを用いて作成したもの



ここからわかること:

2015年7月の全球二酸化炭素濃度です。
青から黄、赤になるにつれて二酸化炭素の濃度が高くなることを示しています。

*舟型多円錐図の変換はダジック・アースチームにご協力いただきました。
(<http://earth.dagik.org>)

用意すもの:

- 直径7.5cmの球(市販のガチャガチャカプセルなど)。

作る前の準備:

- 「いぶき」(GOSAT)のホームページ (<http://www.gosat.nies.go.jp>) からダウンロードし、ラベル用紙に印刷してハサミで絵の部分の切り抜きます。
- 普通の紙に印刷して、のりつけて作ることもできます。

作り方:

- 切り抜いたシールをはがします。
- 球の中心線とシールの赤道の線を合わせて、球に貼っておきます。
- シールの先端(北極と南極)を球の上下の中心に合わせ、となりのシールを合せるように貼っていきます。
- 全部貼ったら、シワになった部分を指で軽く押さえ、表面をなめらかにして、できあがり。



二酸化炭素濃度データ:

「いぶき」という温室効果ガス観測技術衛星 (Greenhouse gases Observing Satellite - GOSAT) の観測データを使っています。
「いぶき」は主な温室効果ガスである二酸化炭素とメタンの濃度を宇宙から観測する世界初の専用衛星です。2009年1月23日の打ち上げから、5年間の定常運用がすでに終了していますが、現在も観測を続けています。